

平成 30(2018) 年度入学生 キャリア教育全体計画

学校番号	67	学校名 (課程)	下伊那農業高等学校 (全日制)
------	----	----------	-----------------

1. 全体目標

○地域の産業や社会を担う有為な人材として必要な能力・態度を醸成するとともに、一人ひとりの進路希望を実現化していく力を養う。

2. 現状・課題

○誰かがどうにかしてくれるという姿勢ではなく、自分にとって必要なことは何か、それを実現化するには何をすればいいのかを、自らが考え、行動していく積極性を養ってもらいたい。その一助として、自分に合ったポートフォリオの活用方法を工夫していくことが必要になってくる。

3. つけたい力

【基礎的・汎用的能力】: 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた「力」でもよい。

- a 社会人としての基本的な生活習慣を身につけるとともに、マナー・規範意識等を醸成し、自己理解・自己管理能力及び人間関係形成能力を育成する。
- b 自己を知り・産業社会や職業を理解するとともに、進路に対する意識を高め、キャリアプランニング能力を育成する。
- c 産業や社会を取り巻く諸課題を理解するとともに、他者と協働して主体的に課題解決を図ろうとする態度を醸成し、課題対応能力及び社会形成能力を育成する。

4. 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する。	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。 イ 各取組の繋がりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。 ウ 講演会や就業体験活動等は事前・事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②、③〉
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む。	エ 年度末に評価(教員、生徒自身)を行い、次年度の取組や指導に生かす。 オ 社会や世界の様々な現実や課題、人間の生き方について考えさせる。〈①〉
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える。	カ 知識、技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランス、言語活動の充実を図る。学んでいることと社会のつながりを意識させる。〈②、④〉
④卒業後の進路を選択し、その実現をめざす。	キ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用する。就業体験活動等、地域社会での体験活動を推進する。〈②、③〉 ク 数多くの資格を取得させる。〈②、③、④〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・各科の教育目標に従い、専門的知識・技能を学ぶことにより職業観・勤労観を醸成する。〈1～3年〉 ・自ら計画、実施し、検証する等の学習活動を実施する。〈2・3年〉
総合的な学習の時間	・「課題研究」における研究・調査等を通じて、課題解決能力を育成する。〈3年〉
特別活動	・進路講話、進路ガイダンスの実施 〈1～3年〉 ・勤労観、職業観を養い、それぞれが学んでいる科の専門科目との関連を探究する。〈2年〉
校外の体験活動 (就業体験活動等)	・企業研修参加の拡充 〈1～3年〉 ・農業関連産業就業体験 〈2・3年〉 ・先進農家体験研修(希望者) 〈1～3年〉 飯田市高校生実績発表会 〈2・3年〉 ・ボランティア、海外交流、オープンキャンパスへの参加(希望者) 〈1～3年〉
地域や産業界等との連携	・就業体験の依頼 〈1～3年〉 ・実習への講師派遣 〈1～3年〉
評価	・生徒、教員アンケート並びに面談及び学校評価により、課題と成果を明確化する。〈1～3年〉 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用 〈1～3年〉
中学校との連携 (指導の継続性)	・飯田市内中学とのキャリア教育担当者連絡会を開催
校内の推進体制	・学科主任会や関連分掌組織において連携を図り、教科学習、キャリア教育及び進路指導等が有機的につながる組織的・体系的なキャリア教育を推進する。 ・進路活動は団体戦である。一人一人が本校の看板を背負って行動し、全員で進路実現を目指す。

5. 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣・マナー等を身につける。 ○自己を知り職業を研究し進路目標を明確にする。 ○確かな学力の基礎・基本を習得する。 ○多くの資格・検定等を取得する。 ○研修やボランティア活動を通じ社会性を養い進路選択の手がかりとする。 ○自らの活動を振り返り、記録を残す習慣をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣・マナー等を確立する。 ○職業理解等を深め進路目標を考える。 ○将来の進路選択を踏まえた科目選択及び課題研究のテーマを設定する。 ○確かな学力の定着を図る。 ○多くの資格・検定等を取得する。 ○自らの活動を振り返り、記録を残す習慣を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路実現に向け積極的な取り組みを目指す。 ○生活習慣・マナー等を定着する。 ○企業・上級学校等についての知識・理解を深めて進路先を具体化し、進路実現を図る。 ○確かな学力の定着と向上を図る。 ○多くの資格・検定等を取得する。 ○記録をもとに、自らの活動を表現する力をつける。
主 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ○面談、進路講話、グループワーク ○進路意識調査 ○就業体験等の体験学習。 ○手帳を活用した活動記録の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> ○面談、進路講話、グループワーク ○進路調査 ○学力の検査 ○就業体験等の体験学習 ○手帳を活用した活動記録の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> ○面談、進路講話、講習会 ○進路調査 ○就業体験・オープンキャンパス等 ○課題研究発表会 ○ポートフォリオの作成
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート ・資格等取得状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・教員アンケート ・資格等取得状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・進路状況 ・教員アンケート ・資格等取得状況

年間指導計画と各取り組みの関連 (* 就業体験活動、校外活動は口で囲む。)

	教 科	総合的な学習の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1 年	5 農業経営「農業経営と地域農業」 6 農業と環境「農業の役割、地域の農業」 7 家庭総合「保育園実習」		4 高校生活オリエンテーション 挨拶・身だしなみ指導 進路希望調査 5 基礎力診断テスト 進路適正検査 6 学年集会「進路講話」/就業体験事前指導	5 面接 7 三者懇談
	夏休 資格取得指導			
	8 家庭総合「天竜小梅の特徴と調理」 9 農業経営「農業と協同組合」 家庭総合「地域の食材活用」 10 農業経営「農業経営者の役割」	11 稲丘祭	10 学年集会「就職支援員による進路講話」	11 生徒意識調査(県教委) 12 三者懇談
	1 保健「応急手当の意義と方法」	1 課題研究発表会参加	2 3年生の話を聞く会 進路ガイダンス	2 面接・教員アンケート
	春休			
2 年	4 総合実習「環境調査」 6 保健「高齢者のための社会の取り組み」 7 生産技術「地域農業交流」 子どもの発達と保育「保育園実習に向けての学習」「乳幼児検診参加」		4 面接、分野別進路ガイダンス 基礎力診断テスト 5 進路希望調査・保護者向け進路講話 6 クレバリン検査 就業体験事前指導 7 キャリア講話	4 面接 7 三者懇談
	夏休 資格取得指導 家庭総合「保育園実習」		職場体験(3～5日間 学科関連以外) オープンキャンパス / 補習	
	9 総合実習「地域の環境保全」 10 家庭総合「高齢者の生活と福祉」 就業体験学習 11 地域計画「伊那谷の食文化」	11 薬物乱用防止講話 11 稲丘祭	9 就業体験(学科関連) 10 見学旅行事前指導 11 各学科見学旅行(3日間) 12 高校内企業説明会	11 生徒意識調査(県教委) 12 三者懇談(進路決定)
	1 家庭総合「正社員とフリーターの違い」 (社会保険労務士講演) 2 総合実習「ごみとリサイクル」	1 課題研究発表会へ参加 研究テーマの考案 2 テーマ設定及び計画立案	1 本年度の就職事情(進路主事講話) 2 小論文模試 進路ガイダンス / 3年生の話を聞く会	2 面接・教員アンケート
	春休		職場体験(第一志望の企業)	
3 年	4 国語表現「原稿用紙の使い方」 5 現代社会「私たちの権利と日本の政治」 6 現代社会「国際政治の動向・地球環境」 7 グリーンライフ「地域農業交流」	4 研究テーマの設定・計画 ↓ 研究・調査・製作	4 面接・進路調査 一般常識テスト / 進路ガイダンス 5 事業所見学会 進学補修、課題作文模試 7 求人票受付開始 求人票の見方履歴書の書き方	4 進路に向けて面接指導 ↓ 7 三者懇談
	夏休 資格取得指導 家庭総合「保育園実習」		8 就職希望者履歴書・面接指導 就職試験から内定までの指導(受験報告書・礼状)個別指導(出願書類の記入等)	随時 進路に向けて面接
	11 国語表現「敬語の使い方・電話対応・手紙の書き方」	8 中間発表会 11 稲丘祭 12 課題研究のまとめ 発表準備	9 就職出願開始 → 就職試験開始 10 受験報告 11 就職未定者指導	↓ 11 生徒意識調査(県教委) 12 三者懇談
	1 租税教室	1 課題研究発表と冊子作成		1 面接・教員アンケート